

## 平成28年度 四日市市環境活動賞受賞者紹介

### ●受賞団体

稲垣 宏信

鈴鹿川たんけんクラブ

なたね通信

### ●表彰式

平成28年12月4日（日曜日）にじばさん三重6階で開催しました「四日市公害と環境未来館環境フェア」の中で表彰式を行いました。



# 稲垣 宏信

## ●表彰活動の内容と目的

### ① ごみ集積場の清掃及び立ち合い管理活動

- 近年、ごみ集積場では、資源ごみの持ち去りやごみの散乱が問題



- 早朝からごみ集積場の鍵の開閉や立ち会い、清掃を行うことによって、ごみの分別などに対する市民の意識が向上
- 一人ひとりが環境に配慮した行動を心がけるきっかけとなる



## ●表彰活動の内容と目的

### ② 石碑の安全管理及び周辺の清掃活動

- 近年、放置された石碑等の崩落が懸念されている
- 日永小学校東門付近にある石碑も危険な状態となっている



- 小学生の安全のため、石碑の保全のために清掃等を実施





## ●受賞者の概要

### ○活動の場所：

南日永北部、南部、西4丁目、西5丁目の各自治会エリア

### ○活動の頻度：

ごみ集積場（年間約77日）、石碑の清掃等（年間約60日）

### ○活動の経歴：

平成28年4月1日現在約9年間



## ● 経歴 (概要)

- ごみ集積場の清掃及び立ち合い管理活動  
　　<平成28年4月1日時点 約9年間>
- 石碑の安全管理及び周辺の清掃活動
- 日永地区の各所における清掃活動

## ● 今後の予定

- 住民が快適に生活できる環境を市民一人ひとりが創出する一助となれるように活動を継続する。



平成28年度 四日市市環境活動賞 受賞者

# 鈴鹿川たんけんクラブ

## ●表彰活動の内容

1. 鈴鹿川派川河口・三角州分岐点(本郷地区)での生き物観察会
2. 手作り舟を使った舟遊び自然体験





## ●活動の目的

1. 子どもたちが自然に触れる機会を与えたい
2. 楠町は鈴鹿川三角州にできた町なので、これを生かして川と川の生き物に触れさせたい
3. 自然と触れ合える場所を整備したい



↑ 子どもたちが川遊びをできる場所を整備し、案内看板を設置した ↑

## ●活動の内容

- 楠公民館行事に協力し、鈴鹿川河口での生物調査及び舟遊びを実施（右写真のとおり）

その他 楠地区まちづくり協議会事業  
地区市民センター事業 に協力



## ●その他

- 地域の祭り(江川桜祭り等)に協力し、竹製花器や楠町の歴史看板を製作、設置





## ●受賞者の概要

団体名称	鈴鹿川たんけんクラブ
代表者	野崎日出男
主な活動場所	鈴鹿川派川河口 鈴鹿川三角州分岐堤防下 小川(ほかに江川、宝酒造前小川) 楠地区市民センター 楠交流会館 楠歴史民俗資料館
運営体制	クラブ員8名 楠地区まちづくり協議会に協力して活動
連絡先	楠地区団体事務局(TEL:059-398-3121)

## ●今後の予定

1. 鈴鹿川本川で高岡山(鈴鹿橋)から本郷グランド(本郷橋)まで、約2kmの川下りを計画  
※ 環境面だけでなく、防災面の学習となるように、集合時に水難事故防止の訓練を行う
2. 地域の祭り等で使用した竹製花器や歴史看板は、町の文化や歴史の伝承面からも必要であるため、新たに竹を活用した花器や楠城と信長、秀吉に関する看板を設置するとともに、今後酒造りの町、楠に関する看板も作製したい

## ●将来に向けて

子どもの頃に親しんだ鈴鹿川の環境を保全し、遊びを通して環境について学び、考える機会を設け、将来を担う子どもたちに豊かな環境を引き継いでいきたい

# 平成28年度 四日市市環境活動賞 受賞者

## な た ね 通 信

### ■表彰活動の内容

応募: 自然共生社会の実現に資する活動

### 工場地帯(四日市コンビナート周辺)の自然観察 調査の実施、結果の公開(映像、報告書、冊子)

- 情報発信活動 なたね通信の発行、環境情報の発信、講座の開催(不定期)
- 自然観察、調査 鈴鹿川～朝明川、市内支流、
- イベント出展 三重県環境学習情報センター、四日市公害と環境未来館他
- 河川観察会 中部ESD拠点協議会連携講座 四日市野鳥観察会開催他
- 大学講義等 立命館大学、三重大学他 国際環境技術移転センター外国人  
研修などインドネシア環境行政職員他
- 小学生向け授業 常磐西小学校
- SNS facebook、ブログを使った工場地帯の生き物映像の発信。



## ●活動の目的

- 四日市公害の教訓や経験を活かして、現在の環境課題の解決するために必要な政策提言や環境教育、自然観察調査、観察会の実施
- 環境意識の啓発を目的とする情報発信

過去の経験

課題への活用

環境保全

## ●活動の内容(詳細)

四日市公害の教訓や経験を現在の環境課題の解決に活かす、きっかけを作る。例) 政策提言(情報発信)や環境教育、自然観察調査、協働事業の実施



鈴鹿川河口で行った自然調査

環境意識の啓発を目的とする情報発信(冊子作成、SNS) 四日市の自然を映像で紹介



四日市市内や三重県の自然を映像紹介する試み。ブログ、facebookでも配信中



# 活動の事例



## 自然調査観察体験2016

時間：10時～12時半 ※集合は、9時50分  
 場所：鈴鹿川の河口右岸から左岸（磯汗海岸側）  
 参加：無料  
 内容：カニや干潟の生き物の観察、調査方法を学ぶ  
 講師：神戸動植物園・環境専門学校の  
 上野淳一郎（カニの専門家）  
 対象：カニや干潟の知識を深めたい方  
 皇体の自由研究で干潟を調べられている方  
 定員：20名 ※参加の10名程度  
 持ち物：長靴or濡れても良い靴、サンダル禁止  
 バケツ、スコップ、  
 水分（お茶、スポーツ飲料）、帽子

### 《申込み方法》

自然科通信063427@gmail.comへメッセージを送って下さい。  
 参加者氏名、年齢※参加される方全員の参加前  
 之連絡先

※イベント中止の場合は、事前にお知らせいたします。  
 ※前日の夜間になるとは、中止となる場合があります。

## 講座内容の紹介

干潟の生き物をつかまえたり、  
 観察しながら河口を歩いて観察し  
 ていきます。カニ以外には何やら  
 も見られます。



左のQRコードを読み  
 取ると47に付いた  
 自然科通信のチラシ  
 が見られます。





# 活動の事例

## 「なたね通信」

四日市公害を経験して「今」  
四日市の自然環境を紹介！！facebookもあるよ！！

📖 ブログトップ

📄 記事一覧

📷 画像一覧

このブログを検索する



次ページ >



四日市ドーム 周辺でバードウォッチング

2016年11月29日(火)

テーマ: 活動日誌

😊 1



四日市ドーム 周辺でバードウォッチング

2016年11月28日(月)

テーマ: 活動日誌

😊 4

プロフィール



natane tsushin

📖 読者になる

最新の記事

四日市ドーム 周辺でバードウォッチング

四日市ドーム 周辺でバードウォッチング

イビヨドリ 海蔵川河口付近

ハジロカイツブリ 海蔵川河口

講座のご案内 募集中！！

2016/12/21

## ●受賞者の概要

団体名称	なたね通信
代表	榊枝正史
これまでの活動経歴	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成21年1月 情報誌なたね通信発行活動開始</li><li>・平成26年から工場地帯の自然観察調査を開始 中部ESD拠点協議会連携講座、立命館大学、三重大学等で講義実施</li><li>・平成27年より自然環境を映像で紹介する試みを開始。</li><li>・平成28年より三重県と共催で、鈴鹿川、海蔵川で自然観察調査体験会を開始</li></ul>
主な活動場所	<ul style="list-style-type: none"><li>・四日市市内の各河川河口付近</li><li>・市内の河川中流域、桜西部の里山</li></ul>
活動の頻度	・月に3回～4回
活動体制	・10名
参加人数	・講座開催時→30名～40名 観察会開催時→25名程度
連絡先	〒510-0837 四日市市西松本町23-6 メール:da34227@gmail.com 榊枝まで ※日中は、仕事をしている為、連絡が遅くなる場合があります。

## ●経歴(概要)

- ・平成21年 1月 活動開始 情報誌なたね通信発行
  - ・平成24年 6月 四日市の海の環境を伝える講座開催 協力:野田之一氏
  - ・平成25年 6月 国際環境技術移転センター依頼インドネシア環境庁職員研修講師
  - ・平成26年 1月 中部ESD連携 工場地帯の自然観察実施
  - ・平成25年 4月 鈴鹿川河口の生き物観察会開始
  - ・平成26年 6月 三重大学四日市学講義で1コマ講義 四日市の海 や干潟などの自然環境を伝える。
  - ・平成26年10月 三滝川、海蔵川、鹿化川自然マップ作成、公開
  - ・平成27年12月 三重生物研究会主催 鈴鹿川河口野鳥観察会講師
  - ・平成28年 2月 三重県環境学習情報センター常設展示コーナー 工場地帯の野鳥たちを映像で紹介
  - ・平成28年 4月 地帯の干潟でカニの調査を開始
- <活動期間( 7年 4月1日現在: 7 年 3か月)>

## ●今後の予定

- ①学校との協働事業 自然環境の継続
- ②観光と環境を結び付けた連携講座の企画
- ③映像を使った自然環境、生物多様性の普及啓発、
- ④工場地帯の自然マップの作成
- ⑤環境特設サイトの設置



**観光と環境の  
連携**